## フローレンスの活動は、皆さんのご寄付に支えられています

例えば**3,000円の寄付**で、
**予期せぬ妊娠に困った女性1名の相談を1回受ける**ことができます。

DVや犯罪被害などによる予期しない妊娠の末の虐待を防ぎ、赤ちゃんを望む夫婦に託すことができます。

例えば**8,400円の寄付**で、
**ひとり親家庭に病児保育を提供**することができます。

ひとり親家庭のお子さん1人が1ヶ月間、病児保育を利用できます。

例えば**95万円の寄付**で、
**障害児訪問保育の保育スタッフ1名の研修・育成**を行うことができます。

1人の障害児が、新たに訪問型保育を受けることができます。

例えば**5,000万円の寄付**で
**障害児保育園を1園、新しく開園**することができます。

約15人の障害児が新たに施設型保育を受けることができます。

## フローレンス マンスリーサポーターに参加しませんか？

1日あたり50円から、子育てを取り巻く社会問題の解決を支援できます。フローレンス マンスリーサポーターでは、フローレンスの活動全体を支援することができます。ご自身の都合にあわせて、月額の寄付金額コースをお選びいただけます。

支援コース

- 1,500円/月
- 3,000円/月
- 5,000円/月
- 10,000円/月
- 15,000円/月

寄付 → フローレンス

- 事業による支援
- 政策化に向けたソーシャルアクション
- 親子の課題を解決する新規事業創出

**申込み方法**

1. 下記URLから支援金額を選択
   **https://florence.or.jp/lp/monthly/**
2. 支払いに使用するカード情報を登録 ｜ ご利用できるお支払い方法　JCB／VISA／Master／AMEX／Diners

フローレンスは東京都の認定を受けた、認定NPO法人です。
確定申告を行うことで寄付金控除を受けることができ、寄付金額の最大約半額が戻ってきます。


Florence
認定NPO法人フローレンス

〒101-0051　東京都千代田区神田神保町1丁目14-1 KDX神保町ビル3F　TEL:03-6811-0903　FAX:03-6811-0902


フローレンスについて詳しく知りたい方、寄付についての詳細はこちらから **http://florence.or.jp/**　フローレンス　で検索

認定NPO法人フローレンス

# アニュアルレポート 2019

ANNUAL REPORT 2019

新しいあたりまえを、すべての親子に。
Florence
認定NPO法人フローレンス

# あたたかいご支援ありがとうございます。どんな親子も笑顔で暮らせる社会を目指し、皆さんとともに走り続けます。

2019年度、フローレンスは数々の社会変革を起こすことができました。医療的ケア児や障害児を専門にお預かりする日本初の「医療的ケアシッター ナンシー」を立ち上げ、休み無く医療的ケアを担う家族に休息の時間を届けました。2015年から提言し続けていた「特別支援学校に通う医療的ケア児の保護者付き添い廃止」については、活動開始から4年目で、東京都教育委員会から廃止の答弁を勝ち得ることができました。仙台のおうち保育園かしわぎでは、地域のソーシャルワークの窓口となる「ほいくえんこども食堂」をオープン。保育を通して子育ての相談や必要な支援につなげていく保育ソーシャルワークの場としても活かされています。秋には、多胎育児に必要な支援を検討するソーシャルアクション「#助けて多胎育児」を開始。アンケート調査を元に、政策提言を積み重ねてきました。その結果、2020年4月より、多胎児家庭を支援する制度がスタートしました。実はこうしたアクションは、

事業として成り立たせるのに時間がかかったり、収益化しづらいものでもあるのです。それでもこうして行動を起こし、成果を出し続けられたのは、他ならぬ寄付者の皆さんがいてくださったからです。心より、お礼を申し上げます。2020年を迎えてまもなく、新型コロナウイルス感染症の流行が起こりました。政府による一斉の休校要請もあり、日本全国の親子が困難な状況に追い詰められました。特に、ひとり親家庭・経済困窮家庭・医療的ケア児者家庭といった弱い立場の人にしわ寄せがいく危険性を感じ、この4月から緊急支援プロジェクトを立ち上げ支援を行っています。withコロナ時代へ突入し、行動変容が求められる状況が続いています。フローレンス自らも変化をしながら、ソーシャルアクションを起こし続け、親子の笑顔を妨げる社会課題を解決していきます。新しいあたりまえ、新しい社会像を、この日本に作っていきたいと思っています。そう、支援者である皆さんと、ともに。

代表理事　駒崎弘樹



# 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急支援プロジェクトを実施

#すべての親子を置き去りにしない

世界的に猛威を奮った新型コロナウイルス。2月末に公立の小中高校が一斉に休校となった他、緊急事態宣言の発令、経済活動の自粛など、私たちの日常が脅かされました。そのような状況で、特に生活に深刻な影響が及んでいる「医療的ケア児者家庭」「生活困窮家庭」「ひとり親家庭」をサポートするために、フローレンスは<新型コロナこども緊急支援プロジェクト>を立ち上げました。多くの個人・法人の皆さんからのご支援を原資に、6月末日時点でのべ12,000人以上、39の医療施設に支援を届けています。フローレンスでは、今後も未曽有の不況のあおりを受けるご家庭に対し、支援を継続していきます。

※実績は2020年6月末日時点のものです

## 3月、突然の一斉休校措置に伴い「一斉休校に関する緊急全国アンケート」を実施。全国約1万人より回答を集め、萩生田文科相に提言

3月6日（金）にアンケートを開始し、わずか数日で約1万人の保護者が回答。子どもたちへの多大な身体的・精神的負担が明らかになりました。開始1週間後には萩生田文部科学大臣に結果をお渡しし、校庭の開放などを提言、その日のうちに各自治体へ子どもの外出や校庭開放をうながすQ&Aが通達されました。翌日の首相会見では、首相自ら子どもの屋外運動を推奨する発言がありました。その他、医ケア児者家庭、ひとり親家庭、生活困窮家庭のニーズ調査も実施しました。

## 医療的ケア児者家庭・医療施設へ

感染症重症化リスクの高い医療的ケア児者に対し、日常のケアに欠かせない消毒液などの衛生用品を提供

- 医療的ケア児者家庭：のべ約5,000人へ支援物資提供
- NICUやこども病院：39施設へ117,800枚のマスク提供

## 経済的に不安定な家庭へ

「こども宅食」型の支援を強化、食料品や日用品の配送を通じ見守り支援を実施

- 全国5府県、9団体のこども宅食実施団体にて、のべ1,500世帯以上を対象にこども宅食臨時便を配送
- 全国10都県・10団体にて、新たに「こども宅食」モデルの支援がスタート、もしくは実施準備中

## ひとり親家庭へ

外部団体とも協働し、全国のひとり親家庭へ食糧支援などを実施

- フローレンスの病児保育「ひとり親支援プラン」利用者を対象に月会費3か月分の無償化、無料保育や健康児保育の提供、日用品の配送
- 外部団体と協働し、約2,400世帯の全国のひとり親家庭に食糧支援や相談支援を提供
- サッカー・長友佑都選手のひとり親支援プロジェクトの運営事務局に

# 私たちは、社会変革のイノベーター集団として
# これからも挑戦し続けます。

**VISION**
**目指す社会像**

みんなで子どもたちを抱きしめ、
子育てとともに何でも挑戦でき、
いろんな家族の笑顔があふれる社会

**MISSION**
**果たす使命**

親子の笑顔をさまたげる
社会問題を解決する

**STRATEGY**
**私たちの戦略**

・社会問題への「小さな解」を事業として生み出す
・政治や行政と共に「小さな解」を政策にし、全国に拡散する
・自らも最良の事業者として、インフラを創造し、最後の一人まで助ける

2019年度までの実績

## 病児保育事業部

フローレンスの
病児保育

### 2005年のサービス開始から利用実績が累計80,000件を突破
### のべ1,247名のひとり親家庭の子どもを支援
### 会員数7,900、社会インフラとしての機能を果たしています

国内初の訪問型・共済型の病児保育事業として2005年にサービスを開始して以降、子どもが病気でも親御さんが仕事を休まずにすむよう、ご自宅で経験豊富なスタッフが看病・保育を行っています。病気の子どもは保育園や学童保育での預かりを断られるケースが多く、共働き世帯やひとり親世帯にとっては預け先がないことが大きな悩みです。ご自宅に訪問する形での預かりで、親御さんの負担を大幅に軽減することができています。2019年度、これまでのお預かり件数が80,000件を突破しました。重大な事故なく事業を継続しています。また、子どもの病気が収入減に直結するひとり親世帯には、月会費・保育料（1時間あたり）ともに1,000円（税抜）で利用できるプランを提供。皆さんの寄付に支えられ、これまでにのべ1,247名の子どもがこのひとり親支援プランにより保育を受けられています。

2019年度までの実績

## みらいの保育園事業部

おうち保育園
みんなのみらいを
つくる保育園
一時保育室
カムパネルラ

### 待機児童問題解決のモデルとして始まった
### 小規模保育所から発展。親子の困りごとを早期発見し
### 適切な支援につなぐ活動を強化しています

2010年、待機児童問題解決のモデルとして小規模保育所の開園からスタートした保育園事業。現在では「おうち保育園（小規模認可）」（東京13、仙台2）、「おうち保育園（企業主導型）」（仙台1）、「みんなのみらいをつくる保育園（認可保育所）」（東京2）のほか、都内で「カムパネルラ（一時保育施設）」と、「待機児童レスキュー隊（訪問型保育）」を展開しています。子ども自身が考え行動する力を育む「シチズンシップ保育」を柱に、子どもたちの中に多様性の芽を育む「インクルーシブ保育」を実践しています。2019年度は保育ソーシャルワーカーを増員し、東京に3名、仙台に1名を配置しました。育児に不安を抱える家庭を早期に発見し、必要な支援につなげる役割を果たしています。仙台では「ほいくえん子ども食堂」をスタート。地域に根ざした園づくりを推進しています。

2019年度までの実績

**182名**
これまでにお預かりしたお子さん

## 障害児保育事業部

Helen 障害児保育園ヘレン　Annie 障害児訪問保育アニー　Nancy 医療的ケアシッターナンシー

### 学齢期の医療的ケア児者の受け皿となる新事業をスタート ひとりひとりの発達に合わせた保育で成長を促すとともに 親御さんに就労の機会や休息時間（レスパイト）を提供しています

預け先がなく、家庭で育てるしかなかった障害児・医療的ケア児に保育と療育を提供するため、2014年に日本初の障害児長時間保育施設として「障害児保育園ヘレン」からスタートした事業です。現在、都内に6園を展開しています。2015年には自宅でお預かりする訪問型の「障害児訪問保育アニー」を開始。保育と看護の二輪で家族と並走し、医ケア児家庭を支えています。

これまでにヘレンとアニーから巣立った（卒園・転園）お子さんの数は73人にのぼります。2019年には18歳までを対象とする訪問支援「医療的ケアシッターナンシー」を提供開始しました。看護師による医療的ケアでご家族に安心いただくとともに、遊びや学習のサポートを行い、お子さんのための健やかな環境づくりに努めています。

2019年度までの実績

**14組**
これまでの縁組支援数

## 赤ちゃん縁組事業部

赤ちゃん縁組

### 4年間で14組の赤ちゃんが新たな家庭に迎えられました 育ての親を希望する夫婦へのサポートを 全国規模へ広げています

日本国内で、2週間に1人のペースで産まれたばかりの赤ちゃんが遺棄・虐待により命を落としています。私たちは1人でも多くの赤ちゃんをこの不幸から救いたいと願い、2016年に事業部化しました。2018年には新しく施行された民間あっせん法※による新制度のもと厚生労働省・東京都より認可を受け、翌年からはモデル事業団体としても採択されています。予期せぬ妊娠に悩む女性のための「にんしん・養子縁組相談」に届く声は年々増加し、相談数はこれまでに2,000件を超えました。専門の相談員が、ひとりひとりに寄り添った相談対応やカウンセリングを行っています。今後はより多くの赤ちゃん・子どもが家庭で愛されて育つよう、行政や医療機関との連携を強化し、さらなる実親と育ての親のサポートを充実、また、里親制度の支援についても取り組んでいきます。

#### 支援の範囲を拡大しています

育ての親を希望する夫婦向けに「特別養子縁組オンライン基礎研修」を提供しています。年間約200組に受講されており、このうち30%の受講者が地方からの参加です。日本全国で特別養子縁組の情報や支援が求められていることを実感しています。

※民間あっせん機関による養子縁組のあっせんに係る児童の保護等に関する法律





2019年度までの実績

**14都府県**
**19エリア**
全国で
こども宅食開始

## こども宅食事業部

こども宅食　こども宅食応援団

### 親子の“つらい”にそっと手をさしのべるアウトリーチ型の福祉モデル 食品の宅配を通じて困りごとを抱える家庭とつながりを作り出しています その輪は全国に拡がっています

経済的に厳しい状況にあるなど、様々な困りごとを抱える子育て家庭に、定期的に食品を届けるこども宅食事業。食品の宅配を通じて生活のサポートをしながら、配送時やオンラインでのコミュニケーションを通じてつながりを作り、困りごとがあった場合に必要な支援先につなげることを目的としています。フローレンスでは、コンソーシアム（共同運営体）メンバーとして東京都文京区の「こども宅食プロジェクト」を推進しつつ、関連団体として「一般社団法人こども宅食応援団」を立ち上げ、「こども宅食」モデルの全国展開を推進しています。文京区では、2017年の事業開始から3年目に入り、600を超える世帯に2ヶ月に1回配送を行っています。食品や日用品だけでなく、コンサート鑑賞やスポーツ観戦、温浴施設への招待といった体験機会の提供も始まりました。こども宅食応援団では、地域の団体が宅食事業を立ち上げるための支援を行っており、現在までに19エリアでこども宅食が立ち上がっています。これにより、約3,500世帯以上に配送を実施しました。こども宅食事業は新しい事業であり、活用できる国や自治体の制度や補助金がまだないため、返礼品なしの「ふるさと納税」によって、皆さんから直接支えられている事業になっています。2019年度は文京区、応援団ともに目標金額を達成することができました。2020年度も変わらぬご支援をお願いします。

#### 第1回こども宅食サミットを開催しました

「親子のつらいを見逃さない社会へ」というビジョンを発信し全国の関連団体と共有するため、2019年10月に「第1回こども宅食サミット」を開催、民間団体や自治体関係者、国会議員など100名以上が集まりました。団体同士や自治体との連携を強化し、一世帯でも多くの家庭に支援の手が届くよう邁進します。

**こども宅食とは**
様々な形で困りごとを抱えている子育て中のご家庭に
周囲に知られない形で、
定期的に食品や生活用品を届ける事業

家庭とつながる　関係性を築く　変化を見つける

### こども宅食を応援しよう！

#### ふるさと納税で応援する

事業の持続的な運営のために、「ふるさと納税」でご寄付をお願いしています。返礼品競争が過熱していますが、こども宅食では返礼品を用意していません。皆さんへのお返しは親子の笑顔です。ぜひ寄付で応援してください。

# みんなで社会変革事業部

**「みんなで社会は変えられる」をあたりまえに
すべての人々の心に社会変革の種火を灯していきます**

フローレンスの様々な活動を世の中に向けて発信する広報活動や、迅速かつ積極的なソーシャルアクションを牽引する部門です。また、皆さんからのご支援の窓口でもあります。2019年度は#助けて多胎育児キャンペーンを行い、主に双子用ベビーカーのバス乗車の規制緩和を訴えかけ、多くのメディアに取り上げられたほか、各地で実際に乗車可能化に向けた動きが起こりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う<新型コロナこども緊急支援プロジェクト>を速やかに立ち上げ、皆さんからの支援の申し出の対応や、孤立リスクを抱えた親子のサポートを指揮しました。「親子の笑顔をさまたげる社会問題を解決する」ため、皆さんとともに歩み続けます。

# 働き方革命事業部

**日本一多様で働きがいのある団体を目指し働き方改革を推進
スタッフ一人ひとりの自主性を大切にしています**

国内NPOでは最大規模である約650名のスタッフをまとめ、支える部門です。その機能は人事から経理、総務、情報システムに至るまで多岐に渡ります。複雑化する社会において、同じ志の上に多様な人材が活躍できる組織づくりを実践しています。2019年は「働き方革命2.0」を掲げ、事務局と保育の現場がよりボーダレスに連携できることを目的とした取り組みを始めました。2020年3月には、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、既存の在宅勤務の制度を見直し、範囲を拡大しました。システム構築、インフラ整備を含め、スタッフのリモートワーク体制を急ピッチで整え、社会の変化に対応しました。働くことに対する価値感が大きな転換を迎えようとしている時代、改革を続けていきます。

# その他関連団体との協働

**病児保育問題、待機児童問題、医療的ケア児者の環境改善…
子どもを取り巻く様々な社会課題の解決のための
機敏な連携を目指します**

フローレンスには、子どもにかかる社会問題の解決のため、より柔軟できめ細やかな活動を推進する関連団体があります。それぞれが業界の全体的な向上を目指し、志を共にする事業者との横の繋がりや当事者のサポートを目的とし、日々活動を続けています。

- 一般財団法人 日本病児保育協会（JaSCA）
- 医療法人社団ペルル
  （マーガレットこどもクリニック）（病児保育室フローレンス初台）
- NPO法人全国小規模保育協議会
- 一般社団法人 全国医療的ケア児者支援協議会
- 一般社団法人 こども宅食応援団



## フローレンスのソーシャルアクション　2019年度成果　事例紹介

### Action 1　多胎児（双子・三つ子等）家庭の育児の実態を見える化 スピード制度改正へと繋がりました

きっかけはあるスタッフが友人から双子育児の壮絶さを耳にしたことでした。単胎の育児と比較し多胎児家庭（双子・三つ子家庭等）の親御さんにかかる育児負担はより重いものであるのに対し、国や自治体による支援のための制度は整っていません。その現状をまずは可視化するため、全国の多胎児家庭1,591世帯に対しアンケート調査を実施。実態が明らかになるにつれ、この負担を当事者だけが負っている現状に、改善の必要性を強く感じました。アンケート結果をもとに、厚生労働省にて記者会見を実施。そこから国や都、市区町村への働きかけを開始しました。国会質問や都議会質問に繋がり、全国レベルで多胎育児問題がイシュー化しました。厚生労働省により多胎児家庭を支援する制度が創設されたほか、東京都ではベビーシッター補助などが予算化されました。

### Action 2　医療的ケア児の通学に保護者の付き添い不要へ 子どもの教育を受ける権利と親の就労継続が守られるように

医療的ケアの必要な子どもが特別支援学校に通うためには、保護者の付き添いが必須でした。そのため、親が仕事を辞めて学校に付き添うか、週に数時間、学校の先生の家庭訪問を受けるかの選択肢しかありませんでした。この日本で、義務教育をまっとうに受けられない子どもたちがいたのです。実際に視察へ行くと、教室の隅に座っているお母さんが、時々わが子に痰の吸引など医療的ケアを行っていました。学校には医療資格を持つ看護師さんがいるにもかかわらずです。私たちはこの障害児家庭の前に立ちはだかる「小1の壁」問題に2015年から取り組み、積極的な要望活動を展開。2019年9月に、東京都教育委員会から「対象の児童生徒一人ひとりの状況に応じて、来年度から保護者の付き添いなく学校生活を送ることができるよう校内管理体制を整える」という答弁を得ました。

### Action 3　ソーシャルワーカーの配置で親子の安心をより確かなものに 保育園が拠点となり地域に健やかな環境を

フローレンスでは運営する保育園に通う園児やその家族を対象に、保育ソーシャルワークを実践し、その制度化を国に訴えてきました。保育ソーシャルワークとは、日々の保育を通して親子が抱える課題をいち早く発見し、適切な支援や制度につなげることで、親子に健やかな環境を提供するサポート活動を指します。2019年12月、保育所等への保育ソーシャルワーカーの配置が国の予算案に盛り込まれました。また、2019年8月より、仙台市のおうち保育園かしわぎで「ほいくえん子ども食堂」を開始。子どもとその保護者、地域の人々に、栄養価の高い食事とコミュニティの場を提供しています。保護者も子どもも、悩みや困ったことがあった時に誰かに相談できる場、また、疲れた時にほっとできる場となれたらと考えています。

## 感謝の声　寄付者の皆さんへ　1

### 1人きりの子育ての支えとして、とても大きな存在です。

病児保育利用者（ひとり親プラン）の声

急なお願いにも朝から対応して下さいました。
常に娘の顔、体を隅々まで見てくださり、その結果、前日とは明らかに違う症状に親よりも先に気づいていただき、前日受診したばかりだし今日はいいかな…と思っていた私に、「昨日と明らかに症状が違うので受診した方々が宜しいと思います」と背中を押して頂き、受診した所…川崎病で入院をしました…。
診断を受けた時から退院するまで生きた心地がしませんでしたが、幸いおかげさまで初動が早かったので、1回の点滴で回復し、早めに退院することができました。

あの日フローレンスさんを頼んでなかったら、受診の必要性を言って頂かなかったら、もしかしたらまだ入院していたかもわかりませんし、後遺症も残っていたかもわかりません。このような制度を設けて下さるフローレンスの皆々様、支援者の皆々様に本当に感謝申し上げます。親も親戚もなく1人きりで子育てする私にとって大きな大きな存在です。
これからも1回1回感謝しながら利用させて頂きます。
今後とも宜しくお願い致します。

## 感謝の声　寄付者の皆さんへ　2

### 特別養子縁組で子どもを迎え、2年が経ちました。

特別養子縁組によりお子さんを迎えた家族の声

この子をお迎えした時は小さい小さい赤ちゃんでしたが、随分と大きくなり元気に成長しています。お迎え当初は無我夢中で子育てをしていましたが、時々えくぼを見せながらにっこりしてくれると、普段の疲れも飛んで行ったことを思い出します。
2歳を過ぎてたくさん話すようになり、今では言葉でのコミュニケーションが取れるようになりました。ママは家族と一緒に家でのんびり遊んだり過ごす時間が大好きです。パパは休日に一緒に思いっきり遊んでみんなを大きな声で笑わせています。

今のこの子の時期もしばらくの間だけで、すぐにもっと大きくなってしまうのかなとふと寂しくもなりますが、その反面、成長を感じられるのは嬉しくもあります。大切に向き合い、一緒に過ごす生活を楽しんでいきたいです。

## 感謝の声　寄付者の皆さんへ　3

### 毎日の医療的ケアに欠かせないアルコール綿を届けていただきました。

<新型コロナこども緊急支援プロジェクト>に届いた声

この度は、どうもありがとうございました。
ちょうど娘が高熱で、訪問看護さんなどサポートをすべてキャンセルして一人でみていたので、すべて自分で決断しなくてはいけない…連日ほぼ寝ずの看病が続き、保健所に電話するゆとりもなく、どうしよう…というところへ、みなさんからのあたたかいお気持ちが届き、あー私は一人じゃないんだ！と急にむくむくとパワーが湧いてきました！切り替えがパッとでき、気持ちが安定したら、冷静に状況をみることができ、いい決断もでき、回復したところです。

心の中で何かしたいと思っても、実際の行動に移すのはなかなかできないことです。私もみなさんのように、すぐに行動できる強くて優しい人になりたいと思いました。みなさんやご家族が今日も笑顔でいられますように、娘からありがとうのハンドパワー送ります。心から感謝しております。

## 感謝の声　寄付者の皆さんへ　4

### 子どもの成長をスタッフとともに喜ぶ。家族が増えたように感じています。

障害児保育園「ヘレン」利用者の声

息子が生まれた時は嬉しいという気持ちより、心配、不安の方が大きかったかもしれません。生後、入院中には何度も手術をしました。気管切開をして声が聞こえなくなってしまった時には、夫とたくさん泣きました。今までで一番辛かったです。
息子は昼夜関わらず定期的に吸引などの医療的ケアが一日中必要です。夜中は私、朝は夫と分担していましたが、日中誰かに預けることもできず私はほとんど自宅におり、どんどん社会が遠のいていく感じがありました。
「もしかしたら障害児が生まれるかもしれない」と分かった時点で、インターネットで色々と調べ始め、ヘレンを見つけました。入園が決まったときは、「わー、復帰できる！」と夫に泣きつきました。1人の時間が与えられたことが嬉しかった。息子は入園してから集団生活がすごく楽しいのか、笑顔がすごく増えました。そして、寝返りとお座りができるようになってきたんです。最近では、おしゃべりまでするようになりました。
私と息子に笑顔を与えてくれたのは障害児保育園ヘレンでした。スタッフの皆さんに愛情をたっぷり注いでいただき、本当に感謝しています。

## 応援メッセージ　フローレンスをご支援くださる方々の声

# フローレンスを様々な形で支援してくださる仲間の皆さんと共に、社会変革に取り組んでいます。

［ 個人寄付者 ］ **三嶋 友梨さま**

出産後の同僚を見て、子育ては大変そうだと思っていたところ、フローレンスのひとり親支援事業を知りました。フローレンスは、ひとり親支援事業の他にも、障害児保育や赤ちゃん縁組、子育て支援に関する政策提言活動など、容易ではない活動をされていて、他では代替できない素晴らしい組織だと思います。誰でも余裕をもって子育てができて、親子が笑顔で暮らせるように、フローレンスの活動を応援しております。引き続きご活躍ください。

### 合同会社 西友
倫理・コンプライアンス本部　サステナビリティ

宇治田 彩さま

フローレンスさんとは2011年より病児保育を始め、障害児保育、赤ちゃん縁組事業等、親子にかかわる様々な社会問題の解決を一緒に進めさせていただいています。ご支援を必要とされている方のニーズにいち早く目を付け、確実に実行されていることで、多くの方がフローレンスさんの事業に大変助けられ、救われていることを確信しております。これからもフローレンスさんと一緒に、誰もがその人らしくいきいきと参画出来る社会をつくっていけると嬉しく思います。

### 一般財団法人村上財団
代表理事

村上絢さま

設立当初からサポートさせていただいておりますが、村上財団の『日本の未来をより豊かなものとするサポートがしたい』という思いをフローレンスさんは、いつもスピード感のある行動で実現してくださいます。より暮らしやすく笑顔あふれる社会にしていけるように、常に新たな問題解決にむけ意欲的に活動されるフローレンスさんを引き続きサポートしていきたいと考えております。

### 日本オラクル株式会社
日本オラクル株式会社　コーポレート・シチズンシップ

川向 緑さま

オラクルのコーポレート・シチズンシップでは、より明るい未来のため、多様性の推進、次世代の育成を支援しています。フローレンスのビジョンに共感し、「子育てと仕事の両立」のために、なにかサポートできることはないかと双方向のダイアログを通して、さまざまな支援をさせていただいています。フローレンスとは率直な意見交換をしながら、資金援助にとどまらない多面的な支援のアイデアを共に考え、共に実行できるのがとてもありがたいです。これからも自社の社員ボランティアとも連携し、次世代のため、共に活動していきたいと考えています。

［ 個人寄付者 ］ **能登谷 明日香さま**

大切な子供たちを取り巻く様々な問題への日々の取組み、本当にご苦労様です。私がフローレンスの活動を知ったのは、娘を出産して間もなくでした。幸せに満たされる一方、心を痛めていた虐待問題が、もう人ごとではいられなくなりました。こんなに尊い命を守れないことがあってはならない。そう感じた時、フローレンスさんの活動を知りました。実は幼くして亡くなった私の姉も医療的ケア児。虐待問題のみならず、障害児保育など多岐に渡る社会的問題解決のためのご尽力に心から感謝致します。

### コストコホールセールジャパン株式会社

ご担当者さま

弊社は、「コストコホールセールジャパンの従業員が住み、働いている地域・近隣社会に貢献する」という指針のもと、特に将来を担う子ども達に対しての支援に焦点をあてて活動しています。フローレンスさんの使命「親子の笑顔をさまたげる社会問題を解決する」は、まさにそれに通じるものであり、子どもの未来を守り、そして子どもとその家族が笑顔でいっぱいになる社会を築けるよう、継続的サポートを行っていければと思っています。

### ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ
JAPAN COMMUNITY IMPACT

内田 菜穂子さま

当社とフローレンスさんとのご縁は2014年から始まり、これまで多くの活動を通じて支援してまいりました。2019年は障害児保育園へレン清掃, 障害児訪問保育アニーを利用するお子さんたちとの遠足等のボランティア活動を行いました。また2017年から3年間にわたるプロジェクト助成をさせていただいており、最終成果報告を楽しみにしているところです。これからも親が安心して働き、子どもが笑顔で暮らせる社会を共に目指していきたいと思います。

### 株式会社セールスフォース・ドットコム
Salesforce.org ディレクター

松山 亜紀さま

セールスフォース・ドットコムでは1999年の創業当時より、社員の勤務時間の1%、株式の1%、製品の1%を非営利団体に提供する「1-1-1モデル」と呼ぶビジネスと統合した社会貢献活動を通じて、非営利団体のみなさまと協働し、社会課題の解決および社会的インパクトの創出を目指しています。フローレンス様とは、2004年より、Salesforceの活用や、障害児保育園でのボランティア、ひとり親家庭のみなさまへの支援、弊社のイベントでの社会貢献ブースへのご協力など、15年以上にわたり包括的に連携させていただいております。これからも、フローレンス様とのパートナーシップを通じて、日本の親子を取り巻く課題の解決とともに世界中の人々が平等に暮らすことのできる社会の実現を目指していきたいと思います。

## フローレンスを支えてくださった企業・団体の皆さん ［一部ご紹介］

株式会社アダストリア

インヴァスト証券株式会社

MFSインベストメント・マネジメント株式会社

コストコホールセールジャパン株式会社

公益財団法人
小林製薬青い鳥財団

株式会社C-links

ジョンソン・エンド・ジョンソン
日本法人グループ

合同会社 西友
企業コミュニケーション部
サステナビリティ

株式会社
セールスフォース・ドットコム

大日本住友製薬株式会社

武田薬品工業株式会社

ティー・ロウ・プライス・ジャパン
株式会社

NARUMI

日本オラクル株式会社

株式会社 Brillar

一般財団法人村上財団

ユナイテッドアローズ
グリーンレーベル リラクシング

ユニリーバ・ジャパン

レゴジャパン株式会社

株式会社YTJ

ICAP Totan Securities Co., Ltd.／株式会社アイフリークスマイルズ／株式会社アクトローカル／アスプラス株式会社／ウインドリバー株式会社／エーザイ株式会社／株式会社ＮＩコンサルティング／株式会社エレファント／エンパワー・サポート株式会社／株式会社大塚商会／(有)金沢印刷／株式会社ＣＲＯＳＳＹ／K-IP ALLIANCE JAPAN／株式会社the liorect／Shake Shack／株式会社ダッドウェイ／株式会社チアーズ／長壽寺／株式会社デュアル・セアリー／nanadecor／新潟住まいのお金相談室株式会社／日本ロレアル株式会社／株式会社ニューステリア／ハートコンサルティング／NPO法人Hand&Foot／兵庫県立東播磨高等学校／FASHION CHARITY PROJECT／ファンタジーリゾート株式会社／NPO法人フィールホーム／株式会社 ベストバイ／株式会社マザースマイル(LOVE TREE)／株式会社マネーライフプランニング／マルホ株式会社／(株)みずぱやし薬局　代表取締役　水林　優／Mrs Japan Asia Supreme Pageant／株式会社ミセラボ／株式会社メリックス／一般社団法人　悠愛／Yom Co.,Ltd／株式会社リコー／株式会社　林間／LOB SALTZMAN／湾岸将棋教室　※五十音順・敬称略

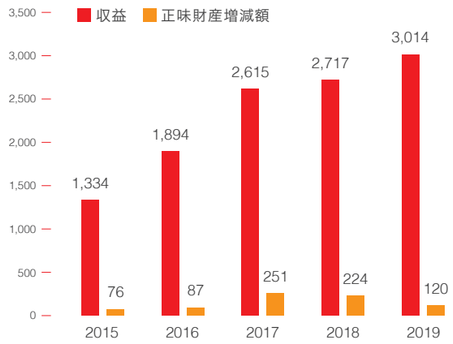
**技術提供ほか、さまざまな形で支えてくださった企業・団体の皆さん**

ウイングアーク1ｓｔ株式会社／株式会社匠Business Place／Chatwork株式会社／ソフトバンク株式会社／ヤフー株式会社



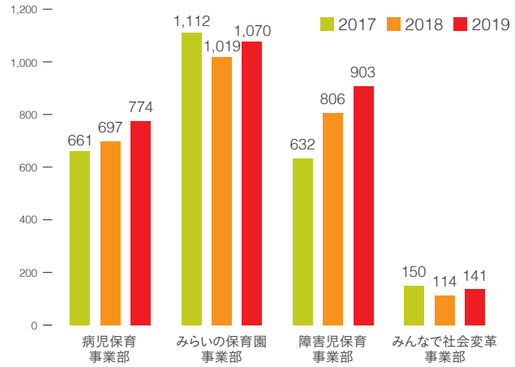
## 2019年度　財務報告

### ［ 収益・正味財産増減額 ］ 単位：百万円



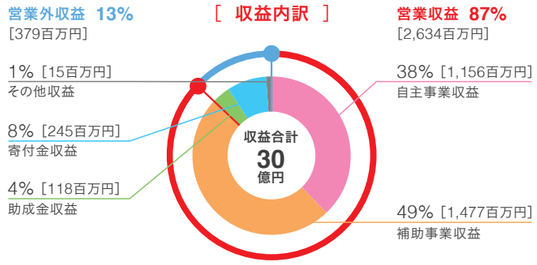

2019年度は収益が3,014百万円で、前年度比297百万円(10.9%)の増収、正味財産増加額(≒利益)は120百万円で、前年度比103百万円(46.3%)の減益でした。NPOは寄付者や会員に利益を分配することを禁止されているだけであって、利益を上げることが禁止されているわけではありません。私たちは社会課題解決のために、その利益を次年度以降の投資に使っていきます。

### ［ 主要事業部別収益 ］ 単位：百万円



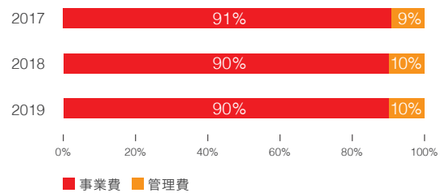

病児保育事業部：主に利用会員数が7,098名から8,567名に増加したことにより、収益が77百万円増収
みらいの保育園事業部：主に既存園の稼働が上がったことにより、収益が50百万円増収
障害児保育事業部：主に居宅訪問型保育の利用実績が増加したこと、新規事業をリリースしたことにより、収益が97百万円増収
みんなで社会変革事業部：寄付金の受取額の増加により、26百万円増収

### ［ 収益内訳 ］




フローレンスの収益構成には2つの特徴があります。
①持続可能な事業運営：フローレンスはサービス提供による事業収益をメインの収益としているため、持続可能性の高い事業運営を行えています。
②寄付者からの支援：フローレンスは事業収益をメインとしたソーシャルベンチャーでありながら、数多くの支援を受けながら事業を行っております。2019年度は2.4億円の寄付をいただくことができました。寄付金は、主に新規事業の医療的ケアシッターナンシーの立ち上げや事業投資などに使用し、社会課題解決に向けた推進の力とさせていただいております。たくさんのご支援ありがとうございました。

### ［ 事業費比率 ］




経常費用のうち事業に使用された費用の割合を示す事業費比率は、2019年度90%でした。フローレンスでは事業費比率90%前後を目安として事業運営しております。

### 平成31年度　活動計算書

| 科目 | 金額(千円) |
|---|---|
| Ⅰ 経常収益 | |
| 1.受取寄付金 | 245,948 |
| 2.受取助成金等 | 1,596,196 |
| 3.事業収益 | 1,156,917 |
| 4.その他収益 | 15,066 |
| 経常収益計 | **3,014,125** |
| Ⅱ 経常費用 | |
| 1.事業費 | 2,608,023 |
| 2.管理費 | 293,665 |
| 経常費用計 | **2,901,688** |
| 当期経常増加額 | 112,438 |
| Ⅲ 経常外収入 | |
| 経常外収入計 | 27,408 |
| Ⅳ 経常外費用 | |
| 経常外費用計 | 1,420 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 18,078 |
| 当期正味財産増加額 | **120,348** |

### 平成30年度　貸借対照表

| 科目 | 金額(千円) |
|---|---|
| Ⅰ 資産の部 | |
| 1.流動資産 | 1,280,970 |
| 2.固定資産 | 390,575 |
| 資産合計 | **1,671,545** |
| Ⅱ 負債の部 | |
| 1.流動負債 | 344,066 |
| 2.固定負債 | 378,006 |
| 負債合計 | **722,072** |
| Ⅲ 正味財産の部 | |
| 正味財産合計 | 949,474 |
| 負債及び正味財産合計 | **1,671,545** |

**データの前提**

NPOはあくまでも「社会課題の解決」を存在意義とし、利益は継続的な活動をしていくための手段です。とはいえ責任を持って持続可能な運営を行うためには、企業と同様に財務健全性を度外視することはできません。フローレンスはそうした財務健全性を保つため、本ページにおいて財務情報の開示を行い、経営の透明性を高めてまいります。NPO会計基準に従っております。ご了承ください。